



とかげ座

季節が進み、少しずつ過ごしやすい気温になってきています。これからは「ペガサス座」や「アンドロメダ座」が秋の見どころとなります。夏と秋の中間地点、天の川の中の明るい星が少ないエリアに、ジグザグとした星の並びがあります。これが「とかげ座」です。明るい星が少ないため、「とかげ座」を見つけるときはペガサス座の前足の北あたりに見当をつけるとよいかもしれません。五つほどの4等星が淡い「W」の字の形に折れ曲がっているのを見つけられると思います。

先月紹介をした「こぎつね座」と同じで、「とかげ座」を設定したのも、17世紀ポーランドの天文学者ヨハネス・ヘヴェリウスです。ヘヴェリウス著書の星図に描かれていましたが、この星図には2つの名前が書かれていました。「トカゲ (LACERTA)」と「イモリ (STELLIO)」です。ヘヴェリウスもどちらにするか悩んでいたようで、ヘヴェリウス著書の星図に描かれた姿も、どちらともとれるイメージの絵になっています。

設定者が同じである「とかげ座」と「こぎつね座」を比べると、もう一つ共通することがあります。それは、物語がないということです。それではなぜ、物語がある星座とない星座があるのでしょうか。その答えは、星座設定の年代の違いにあります。星座が作られた主な時代が2つあります。紀元前に、基礎的な天文学や星座の物語のもととなる伝説が作られました。その後、2世紀にプトレマイオスが体系化し、そのときの星座が今でも使われています。物語がある星座のうち、ほとんどはプトレマイオスが設定した星座です。「とかげ座」と「こぎつね座」のような16～19世紀に設定された星座は、星座を作ることに主な目的があったため、神話との関連性がありません。星座の、物語があるものとないものの違いには、このような背景があるのです。

参考図書：全天星座百科（藤井旭著 / 河出書房新社）、5字で星座と神話（すとうけんたろう著 / 講談社）

令和7年度 天文講演会

「井上さんとブラック星博士の
楽しい天文教室」

講師：井上毅 氏

申込
受付中

10/26日 14:00～15:30

会場：五島協働センター 1F ホール

対象：小学生以上

定員：先着 50 組（約 100 人）

参加費：無料

申込み：9月3日（水）13:00～
天文台ウェブサイトまたは申込みフォーム二次元コードから



井上毅 氏

明石市立天文科学館館長、山口大学時間学研究所客員教授、ブラック星博士マネージャー。1969年生まれ、兵庫県姫路市出身。名古屋大学大学院理学研究科修了。「世界天文年 2009」日本委員会企画委員、日本プラネタリウム協議会 プラネタリウム 100 周年記念事業委員長を務めるなど、天文教育普及活動に取り組む。「星空をつくる機械プラネタリウム 100 年史」（KADOKAWA）などの多数の著書を発表。

星空クイズ

地球で体重が60kgの人が月面で体重計に乗ると何 kg になるでしょう。

- A 10kg
- B 30kg
- C 60kg

答えは中面へ

星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

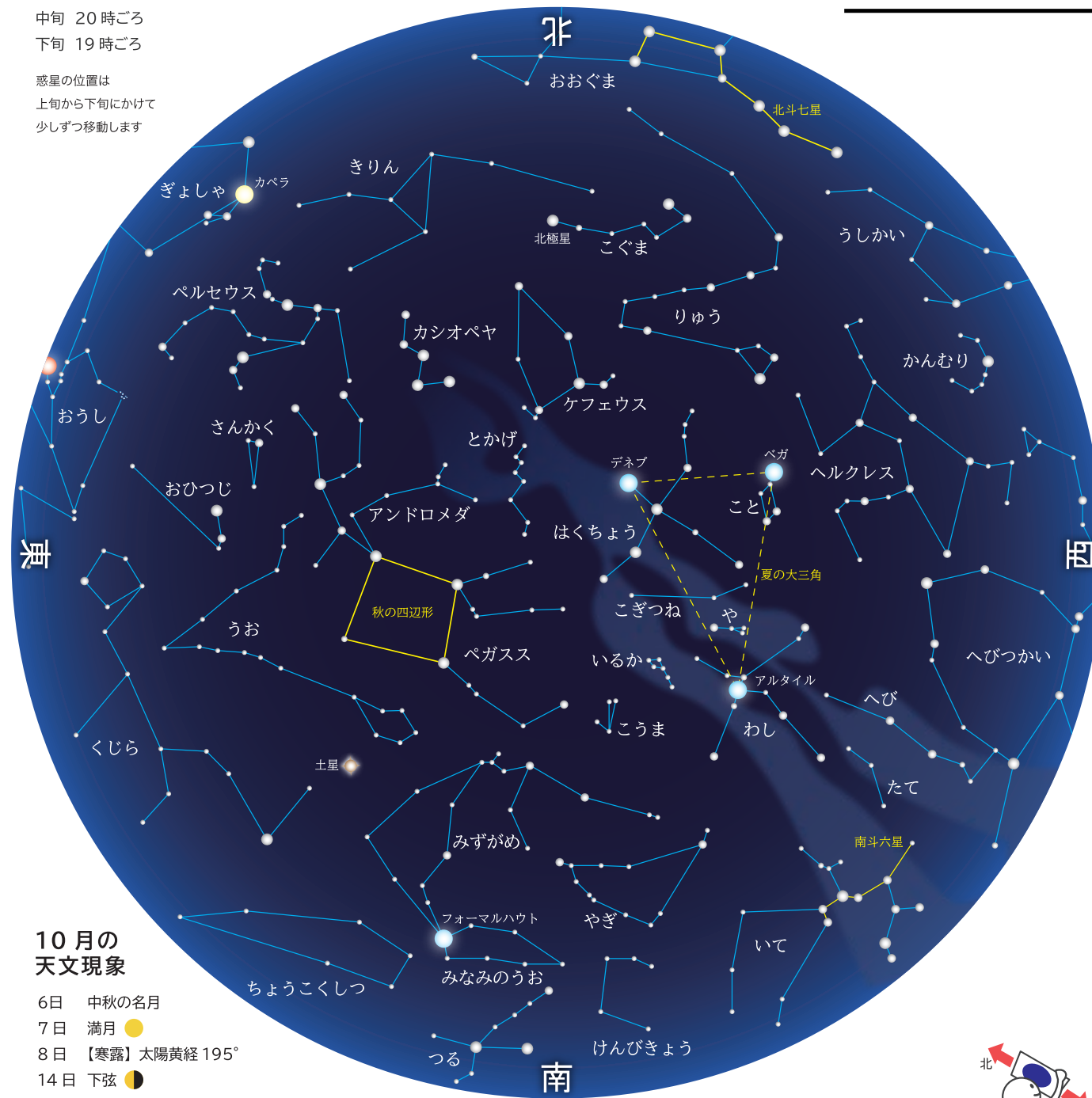
2025 年 10 月

上旬 21 時ごろ

中旬 20 時ごろ

下旬 19 時ごろ

惑星の位置は
上旬から下旬にかけて
少しずつ移動します



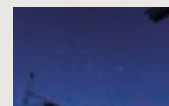
10 月の天文現象

- 6日 中秋の名月
- 7日 満月 ●
- 8日 【寒露】太陽黄経 195°
- 14日 下弦 ●
- 20日 【秋の土用の入り】太陽黄経 207°
- 21日 新月 ●
- オリオン座流星群が極大
- 23日 【霜降】太陽黄経 210°
- 30日 上弦 ●
- 水星が東方最大離角

上の星図は、空にかざして
実際の方角と合わせてご覧ください。



夏の星座が、西の空に傾く秋が訪れます。夜になると気温も下がるため、防寒対策をしながら、秋の星座や中秋の名月を楽しみたいですね。また出現数は、ペルセウス座やふたご座流星群には及ばないものの、オリオン座流星群が 21 日に極大を迎えます。この日は新月のため、月明かりの影響を受けません。全天どの方向にも流れるので、空を見渡して観察してみましょう。





浜松市天文台

イベント情報

天文台ウェブサイトよりお申込みください。



ウェブサイトをこちら



10/4・11・18・25

星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座・星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間 18:30～20:30 会場 天文台屋上

申し込み 開催日 3 日前の水曜 13 時から受付 (30 分ごとと先着 20 組)



10/5 太陽・昼間の星観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や昼間に見える天体を観望します。

時間 14:00～16:00

会場 天文台屋上

申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



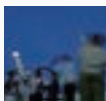
10/5 ソムリエ観望会

星空案内のガイドツアー付き観望会です。新人の星のソムリエ＊がご案内します。

時間 18:30～20:30

会場 天文台屋上

申し込み 9/24 (水) 13 時から受付 (1 時間ごとと先着 9 組)



10/6 中秋の名月観望会 (スマホ de ムーン)

お月見をしましょう。スマホのカメラで月の撮影にも挑戦しましょう。

時間 18:30～20:30

会場 石人の星公園

申し込み 予約の必要はありません。直接石人の星公園にお越しください。



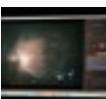
10/19 メシエウォーキング

高感度ビデオカメラ (CMOS) を使って星雲や星団の電視観望を楽しみましょう。撮影したメシエ天体のデータはおみやげにどうぞ。

時間 19:00～21:00

会場 天文台屋上

申し込み 10/8 (水) 13 時から受付 (先着 10 組)



10/26 天文講演会 「井上さんとブラック星博士の楽しい天文教室」

明石市立天文科学館の館長井上毅氏による講演会です。

時間 14:00～15:30

会場 五島協働センター 1F ホール

申し込み 9/3 (水) 13 時から受付 (先着 50 組)

対象 小学生以上 ※詳細は裏面をご覧ください



裏面のクイズの答え：正解は、A

星空を楽しむ

私の推し星座

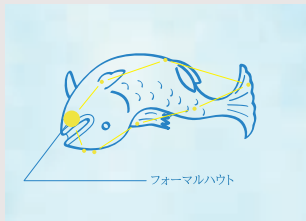
文・浜松市天文台事業協力者の会 織田萌子

秋の夜、南の空の低いところにボツンと輝く星があります。みなみのうお座の一等星、「フォーマルハウト」です。秋のひとつ星、南のひとつ星とも呼ばれる秋の星空で唯一の一等星です。名前がカッコいいですね！

フォーマルハウトとは「魚の口」を意味するアラビア語の「フム・アル・フート」に由来するもので、みなみのうお座の口元で輝いています。

みずがめ座の足元で、まるでみずがめ座の瓶から流れる水を大きな口で飲んでいような姿で描かれるみなみのうお座。そもそもみずがめ座のガニユメデスが持つ瓶の中身は神々のお酒ですから、みなみのうお座は神様のお酒を飲んで酔っ払ってひっくり返っている、なんて説も。

そんなお腹を上にしてひっくり返っているユニークな姿と、秋の星空で唯一の一等星を持つ星座でありながら、お誕生日星座のうお座に隠れて目立たない不憫さが可愛い、みなみのうお座が私の秋の推し星座です。皆さんの推し星座はなんですか？



浜松科学館

プラネタリウム番組情報

解説員がライブ解説する「プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

プラネタリウム	大型映像
月がきれいな夜に話したい3つのこと	星空マルシェ
気軽に観られる生解説のプラネタリウムです。	
平日 14:30～15:25 (土日祝は 13:00～13:55 も投映)	10 月 15 日 (水) ～ 平日 15:50～16:30

夜空をかける光たち

流れ星と火球、そして隕石。これらの言葉は耳にしたことがあっても、その違いは何だろうと疑問に思う方も多いのではないのでしょうか。ちょうど 10 月はオリオン座流星群の時期にあたります。その違いを知っておくと、流れ星を追いかける夜空のひとつきが、より奥深いものに感じられるかもしれません。

まず「流れ星」。宇宙空間に漂うごく小さな塵や砂粒が、秒速数十キロメートルという猛スピードで地球の大気に飛び込むことで生まれます。塵が大気を急激に圧縮することで、塵や大気が高温になり光ります。この光こそが、私たちの目に映る流れ星です。そして、夜空の特定の方向から流れて見える流れ星たちを「流星群」と呼びます。10 月のオリオン座流星群は、有名な流星群のひとつです。

次に「火球」。これは流れ星の中でも特に明るいものを指します。大きなかけらが大気に突入すると空を長く照らし、ときには爆発音を伴うこともあります。先日鹿兒島県のあたりで、夜空がまるで昼間のようになり明るくなるほどの火球が観測され、大きな話題となりました。火球はなかなか見ることができませんが、出会えたときの迫力は流れ星とはまた違う印象を残します。

そして「隕石」。火球となった物体の一部が燃え尽きずに地表へ到達した石のことです。隕石はもともとなった天体の情報を持ったまま、地球まで届きます。そのため、隕石をよく調べると、人類が未だ到達していない遠い宇宙や、太陽系が誕生する時代のことがわかるのです。

プラネタリウム	大型映像
ディラノサウルス	ヒーリングアース IN JAPAN
土日祝 10:30～11:10	平日 / 土日祝 15:50～16:30 ※10 月 15 日 (水) ～は土日祝のみ

キッズプラネタリウム	夜の科学館 特別投映
きらきら☆こんやのおほしさま	星の秋、食の秋、香りの秋
土日祝 11:30～12:05	10 月 10 日 (金) 18:00～18:40 19:00～19:40

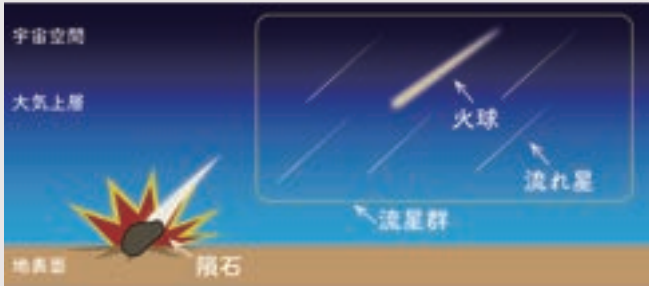
column

文・浜松科学館 天文チーム 長嶋理子

当館には、かつて浜松に落ちた「笹ヶ瀬隕石」と、アルゼンチンに落ちた巨大な隕石「カンボ・デル・シエロ隕石」の一部が展示されています。カンボ・デル・シエロ隕石は、直接触ることもできますから、隕石が地球の石とどう違うのか、実際に触れて確かめてみてください。

今年のオリオン座流星群は、10 月 21 日の午後 9 時頃に極大を迎えると予想されています。この日はちょうど新月で月明かりに邪魔されることもなく、流れ星を観察するには絶好の条件です。流れ星がオリオン座のある方向から放射状に出てくるように見えるので、オリオン座流星群と呼ばれています。ですが、オリオン座の周りしか流れ星が流れないというわけではなく、空全体に流れます。観察するときには空全体を見渡してみましょう。

この秋は流れ星や火球、そして隕石へとつながる宇宙からの贈り物に思いをはせてみるのはいかがでしょうか。



①日付 ②月の出の時刻
③月の入りの時刻 ④月齢

